

## 基幹産業である農業を活用した「まちなか」活性化事業

### NPO法人芽室まちなか応援隊

NPO法人芽室まちなか応援隊は、人通りが少なくシャッター街化している中心市街地の活性化を目的として、まちなかで事業を営んでいる商工業者と芽室町の基幹産業である農業者が集まり設立した団体です。

芽室町の中心市街地にJRの駅があることを活かし、中心市街地地区を「ちょっと寄り道し、ゆったりくつろげる多様性の高い駅前地区」に変えることで人を呼び込みたいと考え、基幹産業である農業を活かしたまちなか活性化事業を実施しています。

#### 【めむろ野菜ヌーボー】

当該補助金を活用させていただき実施した1つ目の事業は、「めむろ野菜ヌーボー」です。芽室町ではおいしい野菜が作られています、多くは大市場に流れ、町民や飲食店が旬の野菜を使用することが難しい環境があります。町民の意見として「芽室産の野菜が食べたい」、「まちなかでは買い物に行くのが大変」などの意見があったため、町民が芽室町産の旬の野菜を身近に感じ、簡単に食べられる環境を整えるため、「めむろ野菜ヌーボー」の取組みを実施しました。

飲食店と農業者がタイアップし、欲しい野菜を簡単に購入できる仕組みを整え、参加する飲食店は携帯やパソコンから注文し、農業者が直接店舗に野菜を届けるようにすることで、これまで町内では販売していなかった野菜を飲食店が使用できるようにしました。

町内の飲食店に参加を呼びかけ、現在は11店舗が事業に参加しています。この仕組みにより、飲食店が欲しい野菜をすぐに入手できるようになり、買い物に行く手間が省けるなどのメリットもあります。また、取扱ができる店舗では野菜の販売も行う仕組みとしており、まちなかの本屋やパン屋で野菜を販売しています。歩いて行ける近くの店で野菜を購入できるため、買い物弱者にとっても利便性が向上しています。「めむろ野菜ヌーボー」の参加店舗には、目印として認定の盾と「のぼり」をお店に掲示し、芽室町産の野菜を積極的に使用していることをお客様にも理解してもらえるようにしました。

また、意外と期間が短い野菜の旬をわかりやすく表現し「旬の野菜」を味わうことの価値を高めるため、旬の時期を掲載した芽室野菜カレンダーを作り、店舗や町に掲示しています。「めむろ野菜ヌーボー」という事業を通して、食の町という雰囲気を作り出すことでまちなかを活性化していきたいと考えています。



めむろ野菜ヌーボー参加店の「認定証」と「のぼり」



芽室野菜カレンダー

#### 【芽室落花生祭りの開催】

2つ目の事業は、芽室落花生祭りの開催です。落花生は温暖な気候を好むため、北海道では栽培が難しいとされていましたが、新しい栽培方法の確立により、芽室町の寒暖差を生かした、より甘味の強い落花生が誕生しました。芽室町の新しい食材であるメモロピーナッツを応援し、これを活用したまちなか活性化事業として、令和4年10月2日（日）に芽室落花生祭りを開催しました。

メモロピーナッツを生産するフィールド（畑）をまると楽しむことをコンセプトに、畑のなかで「芽室



落花生祭り」及び「メムロピーナッツ早採り選手権」を開催し、150名ほどの方に来場いただきました。

どろんこ号での畑の周遊には行列ができ、運行回数を大幅に増やしたため運転手は休む暇が無いほどでした。他にもミニバギー運転や、畑の中でのあみだくじなど子ども達を楽しめる企画や、畑の中でサウナなどの大人が楽しめる企画を用意し、お客様には畑全体で遊んでいただきました。早採り選手権は20組の予定でしたが50組もの参加があり大盛況でした。来場者は親子連れが多く、収穫体験を通して落花生がどのような作物かを知る、農業のフィールドを感じる食育の場として、とても良い企画となりました。

令和5年10月1日（日）には第2回落花生祭りを開催し、約2倍の集客がありました。他の事業者にも参加していただき、飲食の提供やアトラクションを増やし、第1回目よりも大きなイベントとなっています。



農場でのメムロピーナッツ収穫体験

畑の中での企画と同時期に、芽室町内の飲食店で「メムロピーナッツフェス」という企画も開催しました。「メムロピーナッツフェス」は、ピーナッツが旬の時期である9月末から10月末までの1か月間ピーナッツを使用した料理を提供するスタンプラリーで、20店舗以上の飲食店が参加しています。ピーナッツは和・洋・



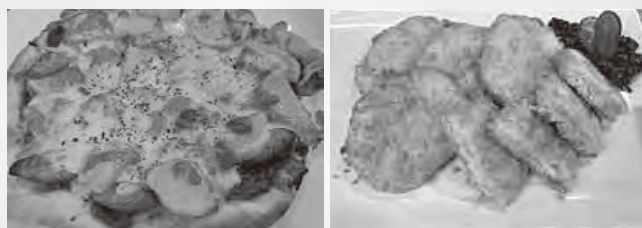
「メムロピーナッツフェス2023」パンフレット

中どの食事とも相性が良く、さまざまなメニューとして提供されました。スタンプラリー参加者から応援のコメントも多数寄せられ、地域でピーナッツを応援しようという機運が感じられました。期間が終了した後、定番メニューにしている飲食店もあり、芽室町の新しい作物の普及啓発に農業者と商業者が一緒に取り組み、共に町を盛り上げる企画となっています。

### 【芽室産じゃがいも「はるか」の普及事業】

3つ目の事業は、芽室産じゃがいも「はるか」の普及事業です。芽室町では「はるか」というじゃがいもを栽培しています。北海道では年々ジャガイモシストセンチュウという、じゃがいもやトマトなどのナス科植物の根に寄生する害虫被害が広がっている中で、抵抗性を持つじゃがいもの栽培が必要になっています。「はるか」は、ジャガイモシストセンチュウに抵抗性があり、食味も良く、調理の幅も広いので、消費者に受け入れられやすいと栽培を始めました。貯蔵期間も長いため、安定的に長期間販売することも可能です。しかし、メイクインや男爵いもが圧倒的なシェアの中では、認知度が低い「はるか」の販路には苦勞していました。そこで、「はるか」のPR事業として、はるかピザ、はるかコロッケの開発を行いました。

コロッケは、観光物産協会での販売やふるさと納税の返礼品としても取り扱っていただき、「はるか」の知名度向上に寄与しています。



じゃがいも「はるか」を使ったピザとコロッケ

地域活性化活動助成をいただき、これらの事業を実施、継続できたことで中心市街地の事業者との関わりや農業者との関わりが広がり、地域住民とつながる接点も生まれました。これからも活動を継続し、中心市街地を維持していきたいと考えております。